



東京園芸ニュース (28年度-36号)

平成28年8月 / 群馬県東京園芸情報センター

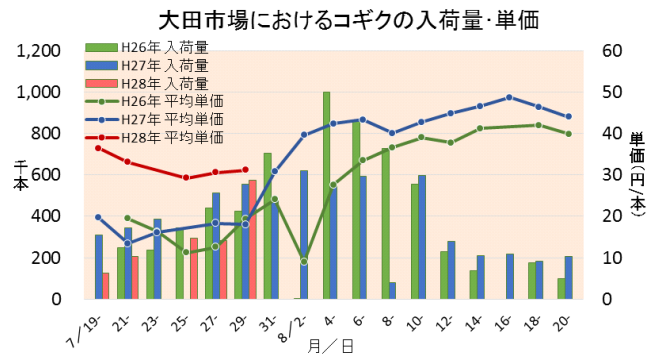
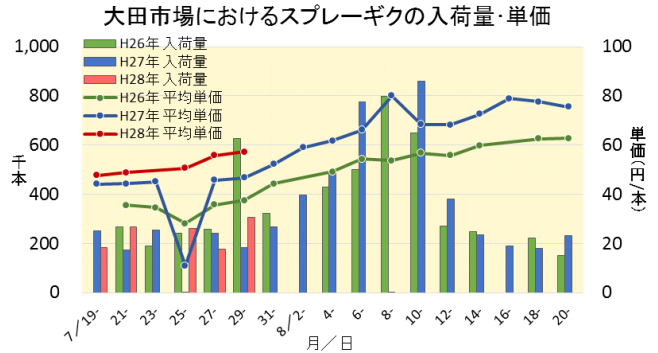
今週末からピークか？旧盆向けキク商戦突入！ ～ 本県産キクも出荷開始で市場PR ～

全国の各産地は順調な生育で、入荷のピークは8月5日か？

8月の旧盆（13日(入り)～16日(明け)）は、一年の中で彼岸向け需要、正月向け需要に次いで切り花の大きな需要期です。特に、お墓参りや仏壇への供え花として定着しているキク類はよく売れるこの時期の出荷に向けて開花調節し、全国の産地から大量に生花市場へ入荷します。

本県においても、吾妻や利根沼田地域を中心にスプレーギク、中部や西部地域を中心にコギクの生産が盛んで、花き振興計画の主要振興品目となっています。

今年は、5月の高温乾燥や6～7月の長雨・曇天・低温など全国で不安定な天候が続き、今後も高温や集中豪雨等も懸念されることからキク類の入荷予測が難しい状況となっています。そのような中で、現状の生育は、関東や東海地方の一部で前進や遅延が見られ、東北や九州地方では順調に開花期を迎えると見込まれています。そのため7月下旬から徐々に入荷量が増加し、愛知、茨城、福島、秋田等の主力産地では8月5日(金)、8日(月)が入荷のピークと予想されています。また、不安定な天候の影響から全国的に白さび病の発生が目立ち、品質への影響が懸念されていますが、各県で注意喚起や防除指導、選花選別の徹底が行われています。



需要期を前に国内最大市場で「ぐんまの花」をPR

都内生花市場における本県産スプレーギク、コギクの展示PR

- 日時：8月1日(月)～5日(金)
- 会場：都内3市場（大田、世田谷、北足立の卸売会社4社展示スペース）
- 主催：群馬県スプレーマム共同販売推進協議会

群馬県スプレーマム共同販売推進協議会では、旧盆向け需要期に合わせて都内の主な生花市場（卸売市場4社）にて本県産スプレーギク、コギクの展示を行い、売買参加者や仲卸等に向けて、品質の高さや品種のラインナップをPRしています。

本県産のスプレーギク、コギクは5月の高温乾燥により生育の前進やバラツキがやや見られたものの品質は良好で、順調に出荷が始まっています。

今後、9月の彼岸需要に向けても市場展示を同様に実施し、より一層の産地PRが行われる予定です。



スプレーギクの市場展示 (FAJ)



スプレーギクを使用したフラワーアレンジによる展示 (世田谷花き)



競り売りを待つスプレーギク



入荷した JA あがつま産スプレーギク